

白色セメント系の内外装仕上材
CL モルタル 総合材マーズル

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306122
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

CL モルタル総合材マーブル

個人住宅の様式は幾度となく変遷してきましたが、今でもやはり一番捨て難く、我々の心の奥深くまで浸透して自然環境に適し、居心地良く安心感と安らぎを保てる住まいは、やはり木の匂いのする木造住宅ではないでしょうか。

しかし、内外部の壁装に従来のセメントモルタルでは、あまりにも味気なく、居心地の良い住宅のイメージとはいえません。そこで、住宅の内外装材として柔らかでソフトな美観と強度を兼ね備えたモルタルとして CL モルタルが誕生しました。

〔目 的〕

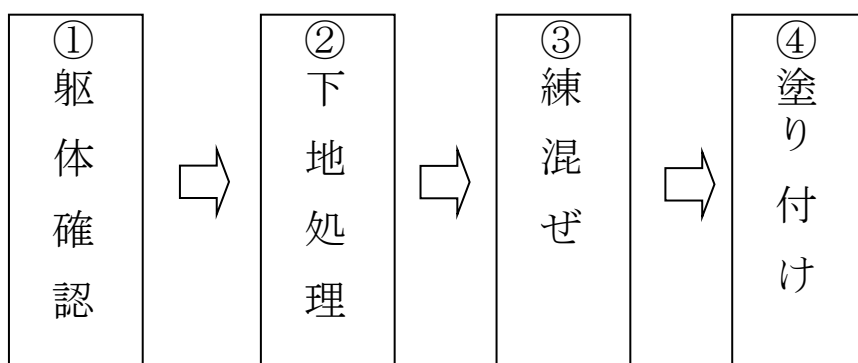
この施工マニュアルは「CL モルタル総合材マーブル」の塗り工事に於ける品質の確保と低亀裂性および耐久性向上を追及するものです。

〔用 途〕

建築用セメント系厚付け白色仕上塗材

一般建造物の内外壁装と瓦屋根の面戸しっくい、ハチマキ等の化粧など建築関係の総合的な仕上材です。中塗り完了のモルタル（既調合軽量モルタル含む）やコンクリート（下地補修が完了したもの）にも使用できます。

〔施 工 工 程〕



〔施 工 方 法〕

CL モルタルは施工時から最終の仕上げ工事までの平均気温が 5℃～35℃の範囲内で施工して下さい。

〔調 合〕

CL総合材マーブル	2 5 k g /袋
上水道水	約 7 0

※気温が高く吸水し易い下地に施工する場合は水量を 10 減量し、その分「シーラーN #4 5」を 1kg 混入したもので練混ぜて下さい。

練上がり量	:	約 1 6 . 5 0
標準塗り厚	:	約 3 ～ 6 m m
標準施工面積	:	約 3 . 3 m ² (5 m m 厚 / 1 袋)

● 「モルタル下地」の場合

○ 躯体確認

- 1) 施工前に気温が 5 ～ 3 5 ℃ の範囲内で施工して下さい。躯体の温度が高いと判断される場合は水打ち、シート養生等をして適正な温度にして下さい。

※躯体が高温度である場合、ドライアウトや亀裂、剥離（浮き）の要因となり、低温度では硬化不良、接着不良等の要因となることがあります。モルタル下地に施工される場合は、下地がの表面がフラットに仕上がっているか、硬化不良、浮き、ひび割れ等、施工に支障がないか点検し、支障のある場合は現場管理者と協議の上、適切な処置を講じて下さい。

○ 下地処理

- 1) 吸水調整材の塗布前にモルタル下地の埃・塵、白華、油分等は取り除いて下さい。
- 2) 「シーラーN#4 5」の 3 倍液（「シーラーN#45」 1 : 上水道水 2）を壁面全体に十分塗布し、乾燥させて下さい。

○ 練混ぜ

- 1) 上表の「調合」を参照し、モルタルミキサーに「CLモルタル総合材マーブル」を投入し、標準水量を少しずつ入れながら練混ぜ、適度な軟度に調整して使用して下さい。練り容器の場合は上水道水を容器に投入してから、粉体を少しずつ加えながら練混ぜて下さい。

※標準水量以上の上水道水で練混ぜると、亀裂の原因や白華を発生しやすくさせる要因となりますのでご注意ください。また一度練混ぜたモルタルは夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使い切り、練足しや練戻しを行わないで下さい。亀裂の原因となります。

○マーブルの塗り付け

- 1) モルタル下地の表面を確認し、下地に対してコテ圧をかけながら薄く下塗りし、追っかけて所定の厚み 3 ～ 6 mm まで塗り付けて下さい。タイミングを見計らい平滑に仕上げて下さい。
- 2) コテ仕上げの場合はモルタルが鰹焼けしないステンレス鰹かプラスチック鰹で仕上げて下さい。KC ローラーでの模様仕上げは、CL モルタルが指で押さえて引っ付かず凹む位のタイミングで各種 KC ローラー等の模様仕上げをして、ローラーのジョイントが目立たないように、丁寧に仕上げて下さい。

●「コンクリート下地」の場合

○躯体確認

- 1) 施工前に気温が 5 ～ 35℃ の範囲内で施工して下さい。躯体の温度が高いと判断される場合は水打ち、シート養生等をして適正な温度にして下さい。

※躯体が高温度である場合、ドライアウトや亀裂、剥離（浮き）の要因となり、低温度では硬化不良、接着不良等の要因となる場合があります。コンクリート下地の場合は壁面にピンホール、ジャンカ、不陸面等が無いか確認し、クラック、浮き、硬化不良等の異常が無いことを確認して下さい。塗り付けに支障がある場合は管理者と協議の上、補修を行う等、適切な処置を講じて下さい。

○下地処理、○練混ぜ、○塗り付けは

「モルタル下地」の場合と同様です。

●瓦屋根の「面戸しっくい」に使用する場合

○躯体確認

- 1) 家屋の本棟、下り棟は施工時に屋根土※で強固に作って下さい。
- 2) 屋根土の表面のホコリ、汚れ等を取り除いて下さい。
- 3) 屋根土が乾燥している場合は水打ちするか、「シーラーN#45」の3倍液を塗布して下さい。
- 4) 施工前に気温が5～35℃の範囲内であるか確認し、範囲外である場合は水打ち、シート養生等をして適正な温度にして下さい。躯体が高温である場合、ドライアウトや亀裂、剥離（浮き）の要因となり、低温では硬化不良、接着不良等の要因になることがあります。

※屋根土、セメント、つなぎ材他混和材をブレンドしたもの

○下地処理

- 1) 下地表面が乾燥している場合は水打ちするか、「シーラーN#45」の3倍液（「シーラーN#45」1：上水道水 2）を塗布し、CLモルタルとの付着を増強して下さい。
- 2) 下地が生および半乾燥の場合はそのまま施工して下さい。

○練混ぜは前項の「モルタル下地」の場合と同様です。

○塗り付け

- 1) 屋根土表面の状況を適正に確認し、平瓦に沿って4mm程度塗り付け丁寧に仕上げて下さい。

●養生時の注意事項

1)施工時の養生

- ①寒冷期には、暖かい日を選んで施工をする。やむを得ず気温が5℃以下の時に施工する場合は、適切な保温対策を講じる。夜間の気温低下による凍害の恐れがある場合は作業を早めに切り上げ、現場管理者との協議の上、十分な養生を行って下さい。
- ②夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講ずる。
- ③降雨・強風あるいは周辺のほかの作業により、塗り付け作業に支障をきたす恐れのある場合は、作業を中止する。

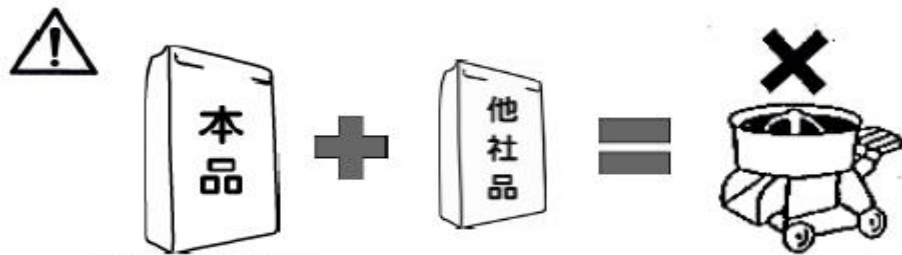
2) 施工後の養生

- ① 塗り付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、通風・日光を避けるようシート掛け養生など、適切な乾燥防止策を講ずる。
- ② 冬期は、早期に降雨・降雪に遭うと硬化不良等の恐れがあるので、シート掛け養生など、適切な防止策を講ずる。

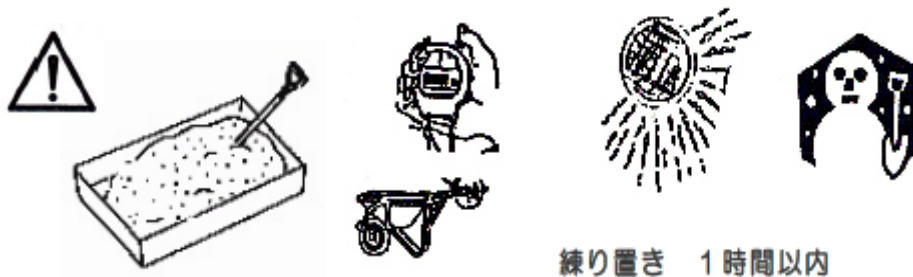


〔注意事項〕

- 1) CL モルタル総合材マーブルは既調合品ですので他の材料を一切混入しないで下さい。



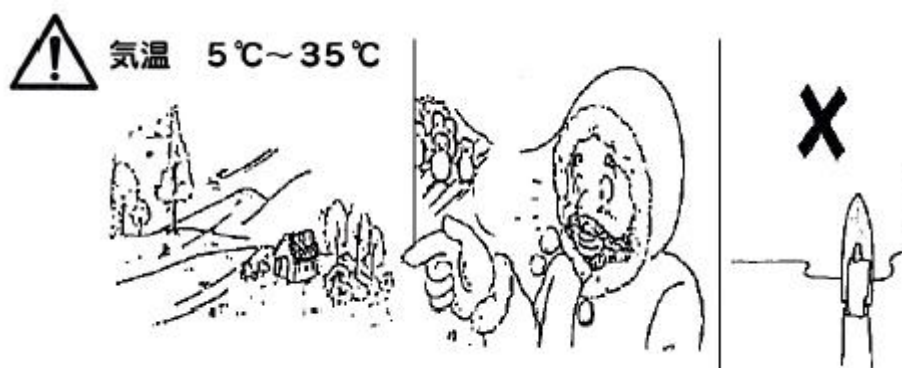
- 2) 練混ぜた材料は、練置時間として1時間以内が目安です。



- 3) 練足し、練戻しは避けて下さい。



- 4) 気温が 5℃以下、35℃以上になる恐れのある場合は、施工を避けて下さい。



使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。

1. 練混ぜた材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
2. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
3. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
4. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
5. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
6. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。

2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004
西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2020/05 第 10 版